

独立行政法人国立がん研究センター理事会（平成 24 年度第 6 回）議事録

日 時 平成 24 年 10 月 26 日（金）10：00-11：30
場 所 独立行政法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 末松誠理事 門田守人理事 中釜斉理事 荒井保明理事
小野高史監事 長崎武彦監事

議事概要

I.理事会（平成 24 年度第 4 回）議事録の確認

- ・資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を荒井保明理事と小野高史監事をお願いした。

II.報告事項

1. シンポジウムの開催「NCC の今後の在り方について」
 - ・国立がん研究センターが今後、十数年先に世界、あるいは日本でどのようにあるべきか、立ち位置を明確にする目的で、「NCC の今後のあり方について」と題してのシンポジウムを開催し、パネリストは患者代表者、企業、メーカー、有識者等による構成で実施して行きたいとの報告がなされた。
2. 全がん協生存率調査結果の新様式での公開について
 - ・がん専門診療施設の生存率を Kap Web という新システムにより情報公開が開始されたことについて説明がなされた。また、施設別の生存率については扱っている疾患の状態によって変わるとの説明を、マスコミに対して行っているとの報告もなされた。
3. 堺市との情報普及のための協定締結について
 - ・視聴覚障害をはじめとする障害のある人に向けたがん情報普及のために、がん研究センターと堺市立健康福祉プラザ視覚・聴覚障害者センターとの協定締結が行われたことについて説明がなされた。
4. 国立高度専門医療研究センターの在り方に関する検討会について
 - ・国立高度専門医療研究センターの在り方に関する第 4 回検討会にて、これまで 3 回の検討会にまとめられた意見等が紹介された。これに対して、生物統計の人材雇用の難しさ及び研究職の雇用期間などについての議論が交わされた。
5. 産学連携・知的財産に関する取り組みについて
 - ・知的財産戦略室における産学連携・知的財産に関するこれまでの取り組みについて説

明がなされた。

6. 月次決算(9月分)について

- ・ 9月分の月次決算の状況について説明がなされ、入院・外来ともに患者数が増えたことが報告された。損益計算書について、9月以降の研究費については、当月に支出された費用と同額を収益に計上することとした。また、経営状況を踏まえ、患者のために必要な整備については、適宜実施していくことが必要との意見が出された。

7. 病院運営状況報告(9月分)について

- ・ 中央病院及び東病院の9月分及び4～9月累計の診療費請求額、患者数、病床稼働率等が報告され、入院・外来部門の診療費請求額が昨年に比較して6.8%増であること等の報告がされた。

8. その他

Ⅲ. 審議事項

1. がん研究開発費の新運営体制について

- ・ 来年度からの、がん研究開発費の新運営体制について説明がなされ、新体制には外部諮問委員会を始め、運営委員会、評価部会の設置により透明性を図ると同時に全ての委員会において外部の目も入れていくとの説明がなされた。また、運営委員については、各分野ごとに委員を決める予定であり、現在検討中であるとの報告がなされた。